

秋田市感染症予防計画（素案）に対する意見と対応

期 間 令和5年12月1日（金）から令和6年1月5日（金）まで

意見数 28名36件

※意見内訳：パブリックコメント1名、市民100人会27名

【全体】

No.	意見等	市の考え・対応
1	予防計画案に賛同します。	案に賛同いただけるご意見として承りました。
2	特にありません。	案に賛同いただけるご意見として承りました。
3	実践経験なく、専門知識もありませんので、意見はありません。	案に賛同いただけるご意見として承りました。
4	新型コロナウイルス感染症における対応と課題から導きだされた「新興感染症に備えるために重視すべき視点」、「新興感染症に備えるための体制の確保」、「主な目標値」はそれぞれ適切であると思う。	案に賛同いただけるご意見として承りました。
5	コロナウイルス感染症が発生した時は、すべてが初めて経験することばかりで後手後手にまわりました。そのすべてを経験したことで、今回の改正案は綿密に考慮されて作成されたと思います。今後はこれに基づいて完璧に対応してください。	案に賛同いただけるご意見として承りました。
6	感染症予防計画はとても難しい問題ですので、国や県と連携して取組みしていただきたいと思えます。	案に賛同いただけるご意見として承りました。今後、本計画に基づく取組状況を県や関係機関に報告・協議し、計画の評価、改善を図りながら、感染症対策の取組を継続してまいります。
7	今回の計画は、新型コロナウイルスの対応を踏まえて策定されており、内容としては大きな不備や問題は無いと考える。ただし、今回の対応でも問題になったのが、感染症対策の組織が経年により経費削減や効率化のため改変、縮小されていたことである。今回の計画も経年により改変されることなく、何十年後に発生するか分からない感染症対策に効果を発揮できるよう組織を維持、継続していただきたい。	案に賛同いただけるご意見として承りました。今後、本計画に基づく取組状況を県や関係機関に報告・協議し、計画の評価、改善を図りながら、感染症対策の取組を継続してまいります。

8	<p>新型コロナを体験して考えたことは、基本的な予防策をきちんと行えば、個々人が感染を防げるのではないかと、ということだ。我が家は5人家族であるが、幸いにもコロナにかかることなくこの3年間で過ごすことができた。テレビ等で報道されていた、手洗い、うがい、マスク着用、3密や不要不急の外出を避ける、等は比較的きちんと守れたと思う。こわい感染症ではあるが、市民一人ひとりがきちんと理解して対応することである程度防げると思うので、そのための啓発事業もとても大切なことだと考える。</p>	<p>感染症予防対策は平時から継続して取り組んでいくことが大切であり、本市では市広報やホームページ等で情報提供を行っておりますが、感染症の流行状況にあわせた注意喚起や、市民へ情報が届きやすい広報媒体の活用など、今後更にきめ細やかな情報提供の方法を検討し、感染症予防対策に関する啓発を行ってまいります。</p>
9	<p>新興感染症が、秋田市で最初に発生した時の体制と流れはどうなのでしょう。</p>	<p>新興感染症を疑う症状のあるかたが発生した場合、市保健所で相談を受け、感染症指定医療機関への受診調整と必要な検査を実施いたします。検査の結果新興感染症と判明した場合、感染拡大を防ぐため、感染症指定医療機関への入院や外出自粛要請を行うほか、患者と接触のあった方の検査や健康観察を実施いたします。</p> <p>また、新興感染症発生に関する情報を公表し、感染の心配がある方からの相談窓口を設置するなど、感染拡大防止への対応を行ってまいります。</p>
10	<p>「主な課題」を克服するために新興感染症に備えるための体制の確保を必ず実施してください。でも不足する部分（事態）も出てくると思うので、その際臨機応変に対応をお願いします。</p>	<p>新興感染症が発生した場合の具体的な体制や対応の流れにつきましては、今後本計画に基づき、既存のマニュアルや指針を整備し、実効性の高いものに修正してまいります。</p>
11	<p>コロナに変わる感染症が今後もあると思います。重症な人は入院できましたが、若い人や軽い人は自宅療養になりました。それによって家族全員が感染することもあると思います。生活のために感染した人が外出して生活しなければなりません。感染した場合は隔離できるような対策を確立して欲しい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症における対応では、家庭内感染防止や入院病床のひっ迫を防ぐため、宿泊療養施設での療養が行われました。新興感染症発生に備えた宿泊療養体制については、県が作成する秋田県感染症予防計画で策定中であり、いただいたご意見については、県と共有いたします。</p>
12	<p>コロナで経験したのが始めてで、国、県のいうままにワクチンを打って世の中の流れに従ってきたので、思いつく事がないです。</p>	<p>案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>

【第1部第2章】基本となる感染症対策関係

No.	意見等	市の考え・対応
13	市民の協力もあってはじめて感染症予防がなされると思うので、平時から市民ができる正しい基本的な感染症対策を啓蒙してほしいと思います。（くり返しくり返し）	感染症予防対策は平時から継続して取り組んでいくことが大切であり、本市では市広報やホームページ等で情報提供を行っておりますが、感染症の流行状況にあわせた注意喚起や、市民へ情報が届きやすい広報媒体の活用など、今後更にきめ細やかな情報提供の方法を検討し、感染症予防対策に関する啓発を行ってまいります。
14	コロナにしろインフルエンザにしろ、感染者数が増えてきた感染症の人数を報道しても良いのではないのでしょうか。現在は1医療機関あたりの感染者数をたまに発表していますが、わかりにくいです。コロナ禍の時のように地域ごと、年代別に感染者数を発表してもらえたら予防のための行動がしやすいです。	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザは、感染症法で5類感染症の定点把握疾患に位置づけられていることから、定点医療機関を受診した患者数を1週間毎に集計し、その数を基に流行状況を把握しております。県内の感染症の流行状況は、「秋田県感染症情報」のホームページで毎週公表しており、地域毎の情報として保健所毎の患者数も掲載しております。

【第2部第1章】新型コロナウイルス感染症における対応と課題関係

No.	意見等	市の考え・対応
15	自宅療養者が受診を希望する場合、受入れが困難であるという課題に対する対応を、県や市で大変だと思うが、積極的に取り組んで欲しい。	案に賛同いただけるご意見として承りました。
17	コロナ自体は5類になったので以前ほど厳戒体制でなくなったと思いますが、今後このような事が起きた際は人員確保が必須と思いました。そこを具体的にどう確保するか検討してもらいたいです。	新興感染症の発生に備えた保健所の人員体制として、他部局からの応援職員やIHEAT（潜在保健師等を登録して支援要請のあった保健所等に派遣する仕組み）要員の確保、業務の外部委託等を活用する方向としており、これらの体制整備が円滑に進められるよう、平時から準備を進めてまいります。
18	この夏、知人がコロナに罹患したことを医療機関で告げられたが、薬局での調剤ではなく、インターネットで取り寄せたことを聞きました。同じ薬とは言え、大丈夫か？と心配してしまいました。医療機関が逼迫しているとはいえ不安に思ったものです。	5類感染症移行前の新型コロナウイルス感染症の対応では、自宅療養となり薬が必要な場合、市保健所から医師会へ処方の依頼をし、患者へ薬を配送する体制を取っておりました。また、オンライン診療で薬が処方される場合もありました。

16	<p>2023年8月お盆期間中に夫がコロナに感染したときの体験を踏まえての意見</p> <p>①秋田県コロナ電話対応窓口の対応力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話1回目→市販の解熱剤を服用して2～3日して熱が下がらなければ病院に行くように指示 ・電話2回目（1回目から2時間後の電話）→熱が高い状態は本人もつらいがウイルスも活動しにくい状態になっており、つらいとか寝られないということがなければ、薬を飲んで無理に熱を下げる必要はない。薬だけで治すのではなくしっかりと食べてしっかりと休む（寝る）ことが大事と説明あり。 <p>夫は2回目の電話でのアドバイスを受入れ、解熱剤は服用せずにしっかりと食べて寝て熱は下がりました。1回目と2回目の指示・説明はどちらが正しいか分かりませんが、医師が電話対応で適切な指示をする体制ができれば、病院の受診者は減るのではないのでしょうか。</p> <p>②医療機関の受診拒否問題</p> <p>夫の熱は下がりましたが、咳が止まらず秋田県外来対応医療機関一覧に掲載の近隣病院に受診したいと電話したところ、その病院にとって初診患者ということで拒否されました。コロナと他の疾患との公平性の観点から医療費が自己負担となるなど、変わり目の時期でありましたが、全く公平性を感じることができない状況だったことは行政で認識されているのでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見の内容につきましては、以前より把握しております。外来対応医療機関の対応について、いただいたご意見を関係機関へお伝えするとともに、今後の参考とさせていただきます。</p>
----	---	---

【第2部第2章】新興感染症に備えるための体制の確保関係

No.	意見等	市の考え・対応
19	<p>有事を見据えた平時からの連携・情報共有体制の構築について、ネット社会の時代なので、必要な情報を精選しつつ、平時から連携して進めてほしいと考える。</p>	<p>案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>
20	<p>「新興感染症に備えるために重視すべき視点」の4つは実現して頂きたいことです。感染症ということで感染拡大を防ぐことは重要ですが、受診したい時に受診できない状態は避けたいです。受診したい時に受診できる体制を希望します。資料にも記載の通り平時からの備えが重要だと思いました。</p>	<p>案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>

21	<p>本間真二郎先生の「ワクチンよりも大切なこと」を読みました。</p> <p>それによると、コロナ対策は他者軸でなく自己軸で考えるのが根本的なものと書かれてあり、納得しました。</p> <p>医療体制の構築も大切とは思いますが、どこまでやってもきりがなく、働く方々への負担は大きくなるばかりではないでしょうか？</p> <p>コロナもインフルエンザと同じような対応とし、やたらとワクチンを増加したり生活に制限をかけず、個人の免疫力、抵抗力を上げマスクなしで行動しても非難されない、ワクチンしなくても非難されない社会にしてほしい。</p>	<p>感染症予防対策として、ワクチン接種のほか、手指衛生、咳エチケット、バランスのよい食事や十分な休養で免疫力を高めること、などが挙げられます。</p> <p>本市では、市広報やホームページ等で感染症予防対策の情報提供を行っており、引き続き、一人ひとりが取り組める感染症予防対策の啓発を進めてまいります。</p>
22	<p>コロナで教訓を得て、感染拡大防止を各自、各家庭、学校、職場において徹底すること。</p>	<p>一人ひとりが取り組む感染拡大防止対策として、手指衛生、三密（密接、密集、密閉）の回避、咳エチケット、換気、体調が悪いときは外出を控える、などが挙げられます。いただいたご意見を参考に、感染拡大防止対策の啓発を進めてまいります。</p>
23	<p>医療機関が大変だったのでなるべく病院に行かないようにしていましたが、コロナに感染したときはとても不安でした。オンライン診察やチャットでの診察、対面しなくても薬を処方してくれたら助かります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の対応においては、感染拡大により医療機関での対面診療が困難であることに鑑み、時限的・特例的取り扱いとして電話やオンライン診療を実施してきたところであり、今後、新興感染症が発生した場合においても、国の動向を見据えながら、県や関係機関と連携し、適切な医療提供体制を確保するよう努めてまいります。</p>
24	<p>幸いにもコロナにかからなかったのですが感染症対応の悪さは分からないが、通院の方だけ受け入れるという個人病院の対応に不満です。どこにも通院していない私のような人は、受け入れないとはどういう事か。お得意様は大事という商売的な考えはやめてほしい。この点を考えて下さい。</p>	<p>5類感染症移行前の新型コロナウイルス感染症の対応では、自院のかかりつけ患者のみ診療可能である医療機関は、かかりつけ患者以外から相談があった場合、発熱患者受入可能の医療機関を紹介する体制となっておりました。</p> <p>また、5類感染症移行後は、幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症患者の診療に対応する体制へと移行しております。</p>
25	<p>各医療機関でも治療できる体制を整えることで、救急病院に集中しない対策を講じるべきと考える。</p>	<p>新興感染症発生に備えた医療提供体制については、県で作成する秋田県感染症予防計画で策定しており、秋田市内の医療機関を含め、新興感染症の対応を行う医療機関と協定を締結し、外来および入院病床を確保することとなっております。</p>

26	<p>保健所および健康環境センターの体制強化について、限られた人員の中で、緊急時対応は大変な事と考えますが、今回のコロナ対策の学びを通し、マニュアルを整備しつつ、的確な指示や情報提供をスピード感をもって対応してほしい。</p>	<p>新興感染症が発生した場合の具体的な体制や対応の流れにつきましては、今後本計画に基づき、既存のマニュアルや指針を整備し、実効性の高いものに修正してまいります。</p>
27	<p>「新興感染症に備えるための体制の確保」については、人材確保の問題が大きかったようですが、非常時の素早い対応がどのようにすればとれるのか、必要に応じて規制をどんな形で緩和して行くかを具体的に考えておく必要があると思いました。</p>	<p>新興感染症の発生に備えた保健所の人員体制として、他部局からの応援職員やIHEAT（潜在保健師等を登録して支援要請のあった保健所等に派遣する仕組み）要員の確保、業務の外部委託等を活用する方向としてしており、これら体制整備が円滑に進められるよう、平時から準備を進めてまいります。また、新型コロナウイルス感染症の対応では、国から緊急事態宣言が発出され、感染拡大防止のため外出自粛等の協力要請がされました。今後、新興感染症発生時に、国から同様に方針が発出された場合は、市民への周知等迅速に行ってまいります。</p>
28	<p>これからの新しい感染症に備えることはコロナを経験しとても大事なことだと思った。一般市民に対し、フェイクでない正確な情報の提供は混乱しない要因の1つと思う。</p>	<p>本市では、平時より市広報やホームページ等で感染症予防対策についての情報提供を行っております。また、新型コロナウイルス感染症については、5類感染症移行前は感染者数やクラスター発生数等について毎日公表し、5類感染症移行後は定点医療機関あたりの患者数を「秋田県感染症情報」のホームページで毎週公表しているところであり、引き続き感染症に関する正しい情報発信に努めてまいります。</p>
29	<p>医療体制の構築に関連して、昨今の感染症が流行した際は、医療体制ひっ迫で医療をすぐに受けられない人も見受けられたと思います。急激に感染者数が増加した際のシュミレーションや感染者のトリアージ（入院させるか自宅待機とするか等）を迅速に行えるような仕組みづくりを期待しています。また、保健所または健康管理センターの業務ひっ迫をできるだけ避けるためにも、提携作業があれば、AIの積極的な使用が必要だと考えます。リスクは生じることは承知ですが、負担軽減・迅速対応のためには不可欠ではないでしょうか。</p>	<p>新興感染症が発生した場合の具体的な体制や対応の流れにつきましては、今後本計画に基づき、既存のマニュアルや指針を整備し、実効性の高いものに修正してまいります。また、新型コロナウイルス感染症の対応を通じて、ICTの活用は重要であると認識しており、活用について検討してまいります。</p>

30	<p>友達の一人が感染した時に、高齢者の一人暮し で買物も行けず、冷蔵庫の中身でしのぎ大変 だったと。感染した時点で保健所が把握して連 絡とかしてくれて食料とか届けてくれるのか？ 誰も感染のことを知らないと思えました。</p>	<p>5類感染症移行前の新型コロナウイルス感染症の対 応では、医療機関からの報告で感染者を把握し保健 所から連絡をしており、物資の入手が困難である場 合は、食料品等の配送も行っておりました。新型コ ロナウイルス感染症での経験を踏まえ、今後、新興 感染症が発生した場合の生活支援の体制を検討して まいります。</p>
31	<p>高齢者の私達はほとんど7回目のワクチンは 終わっています。 ただ皆が口を揃えて言うのは自己負担となれば 果たして打つだろうか？やらない！！と言った 声が多いです。 どうせすぐ死ぬんだから．．．と言う人もいま す。（無料でないとなれば途端にです） 料金によると思いますが、年金生活者にとって は負担が大きいと思います。</p>	<p>新型コロナワクチン接種は、特例臨時接種として国 の方針のもと実施したものであり、接種費用につい ては、全額国の負担で行っていましたが、新型コ ロナウイルス感染症が令和5年5月に「5類感染 症」となり、令和5年度末で特例臨時接種を終了す ることになっております。令和6年度以降は、高齢 者については定期予防接種化され継続する方向であ り、本市としましては、国の方針に基づきワクチン 接種事業を進めてまいります。</p>
32	<p>「日本のコロナ対応策の特徴と課題」にまとめ られている事がそのまま、地域の課題でもある と思います。 「新興感染症に備えるために重視すべき視点」 との関連で、秋田市は県の中心となる市なの で、市内はもちろん、どのように県と連携して 行くのが大切だと考えます。医療におけるI T化の問題も、もし県や市での対応が出来るの であれば、国に先駆けて整備して行くのも良い と思います。ICUの整備についても県で話し 合ってもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>新興感染症発生に備えた医療提供体制については、 県で作成する秋田県感染症予防計画で策定予定であ るため、いただいたご意見については、県と共有いた します。</p>
33	<p>感染症対策は必要だと思っているが、他の病気 の治療、手術、出産について十分対策が出来て いたとは思えない状況であったと思っておりま す。抗原検査ができる場所を多く設置すること も必要であったのではないかと思います。た だ、少し新型コロナウイルスに対してマスコミ が騒ぎすぎているのではないかと、個人的には 思っております。ワクチンで後遺症やお亡くな りになられていることも確かであり、健康的な 国民が犠牲になっているので、偏りすぎた対策 も見直すべきではないかと思います。</p>	<p>新興感染症発生に備えた医療提供体制については、 県が作成する秋田県感染症予防計画で策定予定であ り、新興感染症以外の通常医療もあわせ、適切な医 療が提供されるよう配慮することとしております。 いただいたご意見については県と共有いたします。</p>

34	<p>コロナ感染症で自宅療養の人には行政からお金の支給がありました。コロナ感染すれば仕事は特別休暇をもらい、治療費は公費、その上お金ももらえる状況をいいバイト感覚で利用していた人もいたことも確かです。行政の現金給付は今から考えると過剰といえるものではなかったでしょうか。</p> <p>感染症になった方がお得感覚をもつ人が出てくるような方針はやめていただきたい。方針は国が決めるものかもしれませんが、援助の財源は我々の税金であり、必要かつ妥当な援助にしていきたいと考えます。</p>	<p>ご指摘の行政からの現金給付は「秋田県新型コロナウイルス自宅療養者給付金」であり、新型コロナウイルス感染症に罹患した方で、自宅療養に伴って増える食費や日用品などの経費に充ててもらうことを目的としていたものです。いただいたご意見については、新興感染症での外出自粛対象者等の療養生活支援を検討する上での参考とさせていただきます。</p>
----	---	--

【その他】

No.	意見等	市の考え・対応
35	<p>新型コロナワクチン予約サイトの検索が少し使いづらかった（検索履歴が残らない）と感じました。</p> <p>ワクチン接種の流れはスムーズで大変利用しやすかったです。</p>	<p>ご不便をおかけしました。いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
36	<p>年中行事のように今頃のパブリックコメントの市民へ意見募集は止めてもらいたい。</p> <p>市が自信を持ち仕事をせよ。</p> <p>くそ忙しい年の瀬を考えよ。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>